

実践報告 I のまとめ


令和5年度 相談支援従事者指導者養成研修 ケアマネジメント基礎コース(初任者研修・現任研修)事前振り返りシート (3月8日までに提出をお願いします)

都道府県名:

受講者氏名:

令和5年度 都道府県相談支援従事者研修の状況報告

		演習の実施内容(方法や工夫)	演習の効果(振り返り)	令和6年度への課題・改善点
初任者研修	ケースレポート 情報収集とアセスメント ※アセスメントツールの導入など			
	基礎的スキルの学び ①ストレングスの視点 ②インフォーマル資源の活用			
	実習(インターバル)と本研修演習との運動 ①ケアマネジメント ②協議会(地域を知る)			
現任研修	意思決定支援 個別支援に基づく視点			
	多職種連携 福祉コミュニティとしての地域づくりの視点			
	人材育成 地域を作る相談支援 本人の視点に立った地域アセスメントと地域課題を協議会で検討			
		準備・講師養成・実習実施状況	実習の効果(振り返り)※ 自分の地域の実践	OJT体制整備への推進状況
研修体制整備	演習講師養成 実習受入状況や養成(主任相談の活用など)			

	初任者研修 	現任研修
ねらい	相談支援業務の 価値・知識・技術を一通り学ぶ。	日頃の実践を 振り返る(価値の再確認、知識・技術のバージョンアップ)。
ケースレポート 情報収集とアセスメント (アセスメントツールの 導入など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースのポイントを押さえた言語化 ・根拠のある見立て(ニーズ整理)から支援の方向を導き出す ・チームアプローチにつなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援 ・多職種連携 ・人材育成 ・地域を基盤としたソーシャルワーク
基礎的スキルの学び ①ストレングスの視点 ②インフォーマル資源の 活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレングス活用がインフォーマル活用につながる ・地域のありふれた資源を活用する重要性 	
実習と本研修演習との 連動 ①ケアマネジメント ②協議会(地域を知る)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の相談支援体制を知る ・地域の特性や資源を知る ・OJTの体験 	

◎ 初任者研修の内容→相談支援業務の**価値・知識・技術の大切な基盤**

「相談支援の実際」(演習1、2日目)に盛り込むべき内容のチェック

	盛り込むべき内容	工夫や課題
①	ケアマネジメントプロセスに沿った演習展開	
②	演習の目的に適したモデル事例の準備	
③	初期相談を想定した模擬面接、コミュニケーションへの配慮	
④	情報収集～ニーズ把握の思考過程	
⑤	ジェノグラムやエコマップといったツールの活用	
⑥	ストレングスモデル、生物・心理・社会モデル、ICF等の活用	
⑦	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等利用計画の作成	
⑧	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用	
⑨	模擬サービス担当者会議の体験	
⑩	モニタリングの理解と記録の作成	
⑪	相談支援の終結とセルフケアマネジメントへの移行	